青森県こども読書活動推進計画（第五次）

概要版

計画期間：令和７年度～令和11年度（５年間）

▲第五次計画の詳細はこちら

基本方針

こどもの自主的な読書活動の推進に向けた社会全体での取組

1　不読率の低減 ➡ 最重要課題として目標値を設定
2　多様なこどもたちの読書機会の確保
3　デジタル社会に対応した読書環境の整備
4　こどもの視点に立った読書活動の推進

推進方策

基本方針に沿って、「家庭」、「地域」、「学校等」及び「民間団体」が認識を共有するとともに、それぞれの役割や取組を進めていくため、県としてこどもの読書活動の推進に向けた取組を進めます。

認識の共有

連携・協力　　人財育成　　普及啓発
発達段階に応じた取組　　こどもの読書への関心を高める取組

家　庭

- 読み聞かせ（大人→こども、こども→大人）
- こどもと一緒に本を読む
- こどもと一緒に図書館に出向く　など

県では　ブックスタート等読み聞かせの楽しさを伝える場の提供　など

学校等

- 図書に触れるスペースの確保
- 公立図書館等の団体貸出しの利用
- 全校一斉の読書活動等
- こどもの学校図書館の運営への関わり　など

県では　中高生対象の本の推奨活動、こども同士で図書を紹介し合う活動等の情報提供　など

地域(図書館)

- 障がいのあるこども、日本語が母語でないこども、図書館への来館が難しいこども等が読書する機会をつくるなど

県では　図書館の運営・市町村こども読書活動推進計画の策定についての助言　など

民間団体

- 読書を推奨する運動の実施
- 小・中学校等への図書の贈呈
- 読書会・読み聞かせの実施　など

県では　「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成・コーディネート　など

計画の評価

目標値を設定する指標①

１か月に１冊も本を読まない児童生徒の割合

	現状値		目標値
小学校	15.1%【R4】	➡	7.0%【R11】
中学校	29.3%【R4】	➡	13.1%【R11】
高等学校	50.3%【R4】	➡	43.5%【R11】

目標値を設定する指標②

公立図書館等と連携する学校の割合

	現状値		目標値
小学校	62.1%【R2】	➡	70.0%【R11】
中学校	24.8%【R2】	➡	30.0%【R11】

この他の指針と指標（市町村におけるブックスタート実施率、市町村におけるこども読書活動推進計画の策定率など）については、その都度現状値を把握しながら計画の推進に努めます。

青森県教育委員会

青森県こども読書活動推進計画（第五次）キャッチフレーズ

読書で広がる あおもりっこの未来

未来をつくるこどもたちが読書に親しみ、自主的に読書活動をするためには、
社会全体で積極的に取り組むことが重要です。
県は、第一次から第四次までの推進計画の理念を継承しつつ、
情勢の変化や本県の現状等を踏まえ、ここに新たな推進計画を策定しました。

読書に親しみましょう

社会の変化が激しく、予測が困難な時代を生きるこどもたちの資質を育む上で、読書活動の推進は不可欠です。

読書を通じて、多くの知識を得たり、多様な文化への理解を深めたりすることができます。また、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを身に付け、更なる探究心などが培われます。読むこと自体の楽しさ、それによる充実感、満足感を得ることも重要です。

青森のこどもたちの未来がさらに広がっていくよう、みんなで読書に親しんでみませんか。

「不読率」の低減に向けて

小、中、高の全ての校種でこどもの不読率（１か月に１冊も本を読まないこどもの割合）が増加しています。また、校種が上がるにつれて割合が高くなります。

乳幼児期から中学生までの読書習慣の形成を促すとともに、大人への過渡期にある高校生が読書の必要性を真に感じ、主体的に読書に興味・関心を持てるような取組を推進します。

読書活動に関する県の取組

①乳幼児期からの家庭における読書活動に対する意識啓発を図るため、啓発小冊子『絵本でゆたかな親子の時間』を発行し、希望する市町村等へ提供し、ブックスタート事業や保護者研修会等において活用されています。

②中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、本の紹介文を募集する「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」を実施しています。また、社会全体でこどもの読書活動を推進するために「こどもの読書活動推進大会」を開催しています。

啓発小冊子
「絵本でゆたかな親子の時間」
（第７版）

啓発小冊子については こちら

青森県こども読書活動推進計画（第五次）の詳細はホームページに掲載しています。（オモテ面の二次元コードからご覧ください。）

問合せ先：生涯学習課　企画振興グループ　TEL 017-734-9889